

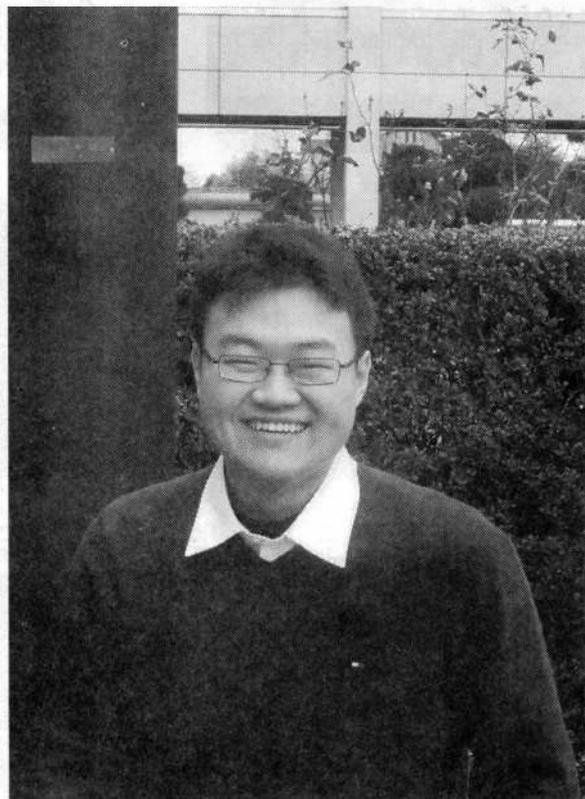
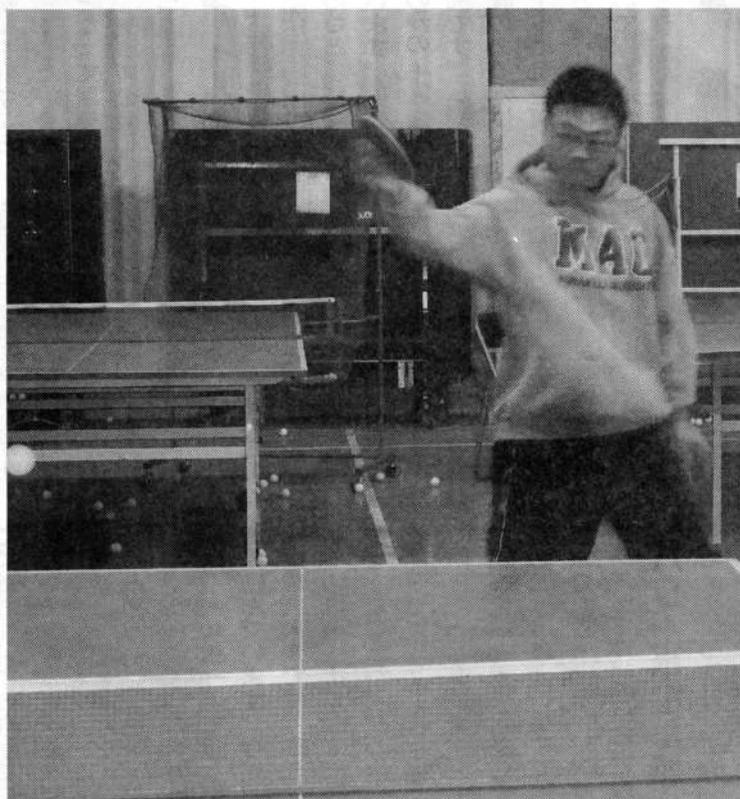
まだ日本に来て日が浅いのですが、私は下館一高の生徒の皆さんが、大変頭が良く、一生懸命勉強していることがわかりました。多くの生徒の皆さん、特に私が授業に出ている一年生に関しては、自分自身を向上させようと頑張っていると思います。どうか努力を怠らず、挑戦する気持ちを持ち続けて下さい。

たぶん多くの方が英語の勉強法で悩んでいるのではないのでしょうか。英語は難しいし混乱しやすい言葉です。しかし、私は今まで日本語を学んできた英語圏の人間として、日本語に比べれば、英語はずっと簡単だと言いたいのです。日本語ではたった一語でも様々な表現があります。たとえば、英語の「I」を日本語に訳す時、私、僕、俺、わたし、わたくし、などと訳すことができます、同じことはほかにもたくさんあります。状況に応じて、言葉を換える必要があるのです。しかし英語では「I」はいついかなる時でも「I」でしかありません。多くの点で、英語がこのように単純であることが、英語が現在世界の共通語になった理由の一つとして挙げられると思います。一番良い英語の勉強法は英語でのコミュニケーションを通して学ぶことだと思います。英語を話せば話すほど、あなたの脳は英語を理解し始め、そしてこのことで、あなたの英語力が向上します。

大学の4年間で私は日本語を大学の日本語入門講座で勉強しました、だから、あなた方が経験している苦勞がわかります。言葉を学んだり、なぜいろいろな文が特定の文型になるのか理解しようとしていたり、そして最後が動詞の活用変化です。全てが新しく、そしてそれが積み重なると、ますます難しくなります。最初は小さなことからゆっくりと問題に取り組むことです、そうすれば、すぐにわかると思います。

日本はとてもわくわくする場所です。日本で過ごすこれからの日々を楽しみにしています。できるだけ多くのことに挑戦して、楽しんで、日本での良い思い出を作りたいと思っています。

(ありがとうございました。)



活躍する一高生

運動部

剣道部

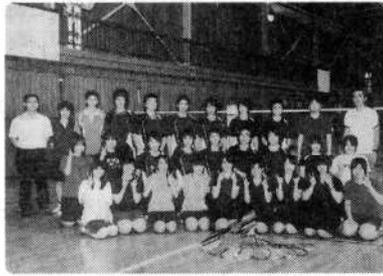
私達剣道部は、顧問の青木先生ご指導のもと男子五名、女子三名の計八名と言う少ない部員で日々練習に励んでいます。今年は、関東大会出場を決め、インハイ予選では、県三位と言う成績を残すことが出来ました。さらに良い結果を残せるように頑張っていますので、応援をお願いします。入部をお待ちしています。



バドミントン部

私たちバドミントン部は、男子九名、女子十八名が顧問の高野先生、大林先生、増淵先生の下、週六日で活動中です。県西大会突破及

び県大会出場を目標にして日々練習に励んでおります。先日の新人戦では、団体戦・個人戦共に男女とも県大会出場を果たしました。これから、日々の練習を怠ることなく精進し、勝ち続けていきたいです。



バスケットボール部

私たちバスケットボール部は、男子二十二名、女子十九名、マネージャー一人の計四十二人で廣瀬先生、日向先生、深谷先生ご指導のもと、春に行われる関東予選・総体にむけて日々練習に励んでいます。初心者でも経験者でもバスケットに興味のある方はぜひ一度見学に来てください。



硬式テニス部

私達硬式テニス部は中村先生、国府田先生の御指導のもと県大会上位進出を目指し、日々練習に励んでいます。昨年は県大会に出場することができましたが、



満足のいく結果を残すことが出来ませんでした。今年も部員一丸となって目標達成を目指し、テニスを楽しんでいきたいです。

ハンドボール部

僕たちハンドボール部は、顧問、長谷川先生、前鬼コーチのご指導のもと、日々練習に励んでいます。現在部員は一年生のみ十人と少し少ない状況です。ハンドボールに興味のある人は、ぜひ一度コートに足を運んでみてください。部員は全員初心者なので、初心者の人も大歓迎です。

弓道部

私たちは立川先生、飯島先生のご指導のもと日々練習に取り組んでいます。弓道はただ的に矢を射るといふシンプルな競技ですが、



その一射一射に緊張感が生まれ、当たった時の達成感を得ることが出来ます。今年も、中野杯女子個人優勝、新人県西大会団体優勝という成績を収めています。

興味のある方は、一度弓道場へ足を運んでみてください。

陸上部

僕たち陸上部は、男子十三名、女子三名、マネージャー三名の計十九名で顧問の鯨先生と大竹先生の下で練習に励んでいます。今年の新人戦は、三十三年ぶりに県西大会で優勝し、県大会でも計六種目で入賞を果たすなど、例年になく活躍をしています。走ることが好きな人は是非一度、見学に来



てください。にぎやかで仲の良い先輩達が快く迎えてくれるでしょう。

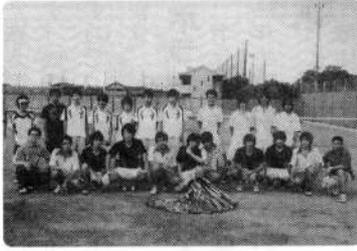
ボクシング部

ボクシング部は二年生十二人、一年生一人で日々練習に励んでいます。今年の関東選抜大会では、残念ながら結果を残すことは出来ませんが、次の大会では結果を残せるよう頑張りたいと思います。また現在、一年生の入部希望者も受け付けているので、興味のある方は是非、ボクシング部までお願いします。

バレーボール部

私たちバレーボール部は二年生七名、一年生十名、マネージャー二名で酒寄先生、中村先生、宮本先生のもとで活動しています。日々の練習では基礎を中心に、部員一人ひとりが向上心を持ちながら取り組んでいます。県大会に出場し、勝つことを目標にこれからの練習に励んでいきます。部員も募集していますので、興味のある方はぜひ見学に来て

ください。
ライフル部
僕達ライフル射撃部は二



ソフトテニス部
 私たちソフトテニス部は、男子十一名、女子八名で、先生方のご指導のもと、日々の練習に励んでいます。新人戦ではあまり良い結果が残せなかったのですが、この悔しさをバネに、春の関東大会とインターハイへの出場を目指し、チーム一丸となって精進したいと思います。

年生四人、一年生六人で真壁のライフル射撃場で練習しています。部員数は少ないですが、関東大会、全国大会にも団体、個人でも出場を果たしました。このスポーツはオリンピック種目にも登録されており、集中力を鍛えることが出来、努力によっては国体にも出場することが出来ます。全国大会で上位入賞を目指し日々練習に励んでいます。



柔道部
 私達柔道部は、男子三人と、顧問の先生一人というごく少ない人数で練習に励んでいます。部員の内二人は初心者なので、基本を重視した練習に加え、筋力トレーニングを行っています。強くなるには時間がかかりますが、部員全員で支え合いながら活動しようと考えています。興味のある方は、経験者、初心者問わず、ぜひ体験に来てみてください。



初心者でもしっかり練習を積み上げ上手になれるので、興味がある方はぜひ一度見学に来てください。



軟式野球部
 私たち軟式野球部は丸山先生、小林先生の御指導のもと日々練習に励んでいます。男子十一名、女子二名という部員が少ないなかでもメンバー全員が楽しく活動しています。しかし、「県大会優勝」を目標に厳しい練習に一生懸命取り組んでいます。部員が少ないことに悩んでいます。野球に興味がある方は是非軟式野球部に入部してください。

卓球部
 私たち卓球部は、男子二名、女子五名で、県大会上位入賞を目標に日々練習に励んでいます。文武両道が可能な部活なので、充実した高校生活が送れると思います。初心者の方も大歓迎なので、みなさん是非卓球部に入部してください。お待ちしております。

4以上を目標に日々練習に励んでいます。練習内容はパスやシュートなど基礎的なものや試合形式の11対11のゲームなどがあります。初心者でも経験者でもやる気のある人は是非一度見学に来てください。

水泳部
 水泳部は、毎日スポーツクラブで練習に励んでいます。現在部員が一名という状況ですが、今年度は、女子五〇m・一〇〇m自由形で関東高校に出場し、国民体育大会では、四〇〇mフリーリレーで八位に入賞することができました。部員数が少なくて寂しいので、水泳の経験がある方や興味のある方はぜひ入部してください。

放送部
 私たち放送部は二年生七名、一年生十五名の計二十二名で全国大会出場を目指して毎日練習に励んでいます。今年度は団体戦のラジオドラマ部門では県大会優勝、個人戦のアナウンス部



硬式野球部
 私達、硬式野球部は一年生十三名、二年生十一名、マネージャー四名の計二十八名で片岡監督、岡田部長、須藤顧問の下、春の大会は県大会出場、夏の大会はベスト16以上を目指し、「全員野球」でその達成に向け、活動をしています。野球に興味のある方は、是非一度見学に来てください。

写真部
 私たち写真部は、主な活動として、県高校総文祭への出展や各コンクール等への参加、撮影旅行、また高文連写真部会主催の講演会や撮影研修会への参加をしています。主にデジタル写真を中心に活動中です。ま

書道部
 私達書道部は二年生二名、一年生八名で活動している。練習は各自で行い、各種書道展への出品の制作に励んでいる。昨年度は、「茨城県高等学校総合文化祭」において三名が入選し、そのうち一名が「全国総合文化祭・富山大会」への出場を決めた。また、他の書道展においても上位入賞している。興味のある方は是非入部して下さい。

報 新人部員を募集していま
す。気軽に活動できる部
会ですので、よろしくお願
いします。

紫西 紫

ボランテア同好会
ボランテア同好会は、
一年生六人で活動してい
ます。

毎年、サマーセミナーや
養護学校、障がい者施設
の行事のサポートなどに参
加しています。

このような経験を通して、
「ボランテア」とは「すべ
てをやってあげる」とは
なく「出来ないことを手
助けすること」だとわかり
ました。

相手にとっても、自分に
とっても、良いことがた
くさんあって、貴重な経験
が出来ます。

年に活動が数回なので兼
部も可能です。

音楽部

私たち音楽部は、まとま
った活動はしておらずバンド
単位の活動ですが各々が自
分たちの目標に向かって活
動しています

初心者経験者問わず、ギ
ターやベース等の楽器に興
味のある人、バンド活動に

興味がある人なら誰でも入
部が可能です。

兼部が可能ですので、ど
なたもお気軽に音楽部に
いらしてください、お待ち
しております。

美術部

美術部は館野先生のご指
導のもと、二年生三名、一
年生一名の計四名で毎日
楽しく活動しています。部
員一人一人が画力向上を
目指し、デッサンや油絵を
中心に描いています。今年
は西展、県展に出品、文化
祭のポスター、パンフレ
ットの製作をしました。興
味がある方はぜひ美術室
へ見学に来て下さい。

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は顧問
の佐藤先生、福田先生、
外部顧問の都野先生
のご指導のもと日々練習
に励んでいます。部員は
今男女十九名で毎日仲
良く活動しています。一
年を通して様々な行事
があり、最近では十月に
他校との合同演奏、十一
月にはしもだて吹奏楽
団と中学校二校で合同
音楽祭を行いました。大
変な時もありますが、
楽しいことばかりなの

で、ぜひ少しでも興味が
あるかたは音楽室に足を
運んでみて下さい。

文芸部

文芸部は現在二年生二
人、一年生三人の五人
で活動しています。俳句
甲子園出場に向けてが
んばっています。自分の
気持ちや感じたことを
言葉にして誰かに伝え
るのはとても難しいこと
ですが、私たちは俳句や
短歌を通じて素直に表
現する楽しさを学んで
います。興味のある方
はぜひ見学に来て下さ
い。

茶華道部

私たち茶華道部は講師
の飯塚先生のもと一年
生五人、二年生二人で
活動しています。「和
敬清寂」を心がけなが
らいただく季節ごとの
菓子やお茶は私たちの
楽しみの一つです。今
年は私たちの最大の
見せ場、文化祭があり
、「立礼」という椅子
と卓を用いて行うお
手前をしました。皆様
遊びにきて下さいね。

ストリングオーケストラ部

私たちは館野先生、
外部講師の佐々木先生、
村関先生のご指導
のもと活動して

います。文化祭や定期
演奏会、また、プロの
演奏家の方々との共
演などを行っています。
経験者だけでなく、
今までもともに楽器
を弾いたことがない
初心者も大歓迎です。
自由に楽しく活動
しているので、興味
のある方は是非見学
に来てみて下さい。

生物部

我々生物部は的場先生
のご指導のもと日々
活動しています。現在
の部員数は二年生九
人と一年生一人の計
十人です。

主な活動の内容は、い
くつかのチームに分
かれてそれぞれの研
究対象とした生物の
観察や実験等をし、
記録をつけるという
ものです。今年度は
「ハエトリソウ」「
ダンゴムシ」「プラ
ナリア」の三つのチ
ームに分かれて研究
、発表を行いました。

今年度、今の二年生
は引退してしまうので
部員が非常に少なく
なっています。生物
室で活動していま
すので研究してみ
たい生物がある人、
観察が好きな人の
入部お待ちしております。

平成二十三年度 紫西同窓会幹事

- 一組 大木暁都 海賀美穂
- 二組 荒井祥太 佐伯真由
- 三組 長本真弥 富田啓介
- 四組 植木美芽 田所悠寿
- 五組 榎戸美咲 野寺美有
- 六組 平石祥吾 宮田晴香
- 七組 木村真紀 箱守遼樹

編集後記

平成二十三年度が終わ
りました。思えば、昨
年は、大地震と原発
事故で終わった一年
間でした。日本人の
思考、生き方を根底
から変えるような一
年でした。私自身も、
様々な出来事が起
きました。大震災で
自分の生活を見直し
ました。近代文明の
産物である電気やガ
スが停められ、交通
網なども麻痺してし
まうと、我々は何も
出来なくなってしまう
という無力さを感じ
る一年でした。私
自身、自然災害の前
(テレビを通じて東
北地方の災害の悲惨
さを確認している
だけで)に唯唯
茫然とするのみで、
この世に永久不変
のものはない、形
あるものは必ず滅ぶ
、日本人の思想で
ある無常観を改めて
感じました。我々日
本人は、戦後の繁栄
を通じて、無常観を
忘れてしまったので
はないでしょうか。
安全や平和を無料
で手に入るものだ
と思いきや、なにか
つ繁栄はいつまでも
続くものだ、科学
や近代の産物は万
能だと絶対視して
きました、そんなこ
とはなく、われわれ
の日常には絶えず
危険は潜んでいる
と云う事、常に死
と隣り合わせで日
常は進んでいくこ
とが明白になった
一年だったと思
います。近代に
対して疑念をもち、
我々の生き方を見
つめ直し、我々は
先人の思想に学ぶ
ことが要求されて
いるのではないで
しょうか。この世
の中が、無常であ
り、大なる前に我
々は為すべがない
こと、無常を受け
入れ一日一日自分
で出来るだけのこと
を行い、運命に身
を任せること、そ
れが私たちのこれ
からの生き方の姿
勢ではないでしょ
うか。(大吉 記)

編集委員

- 佐藤伸彦 蔦田啓子
- 柴山佳美 大吉 悟
- 写真提供 鈴木写真館